



# さかいぎ

チャレンジアップ! かがやく自分

9月号

令和5年8月28日  
横浜市立境木小学校  
校長 清見 克明

## 「災害用 ハマッコトイレ」工事

校長 清見 克明

この夏休みは、猛暑の日が続きました。連日のように熱中症警戒アラートが発表されました。日中の最高気温が40度を超えた所、その日の最高気温が35度以上、最低気温が30度近くになるという予報が出された所など、記録的な暑い日々が続きました。

それに伴い、熱中症で緊急搬送されたり、尊い命が失われたりしました。不要不急の外出を控えるように、また、適切に水分を取り、冷房を使用するように報道されていました。しばらくこの暑さが続くという予報もあります。夏休み明け、子どもたちの学校生活にも十分に気をつけて取り組んでまいります。

一方、台風の上陸も相次ぎ、停電や、橋や建物の倒壊、土砂崩れ、河川の氾濫など甚大な被害ができました。停電のため、断水した世帯も多く、「冷蔵庫の水が溶けて、床が水浸しになった。」「冷蔵庫の食材が使えず廃棄した。」「トイレの水が出ない。」「お風呂やシャワーが使えない、洗濯もできない。」「空調が止まり、部屋の温度が30度を超えた。」「インスタント食品を温めることができず、お湯もない。」などなど被災した方々がインタビューに答えていました。

改めて、気象に関する災害への備えを考えさせられました。被災された皆様には心より、お見舞い申し上げます。一刻も早く、もとの生活ができますよう復旧を願っています。



境木小学校では、この夏休み期間に「災害用ハマッコトイレ」の設置工事が行われました。このトイレは地震の影響で水洗トイレが使用不能になった場合でも、地域防災拠点等において衛生的に使用できる仮設のトイレです。

平素はマンホールのみですが、使用するときは、専用のマンホールの上に便器や外壁パネルを設置します。地下の専用下水道管に水を貯め、500回程度トイレを使用するごとに、公共の下水道管へ流し出す仕組みです。使うことがないのが一番ですが、車いす対応型も含め、全部で5基設置予定です。

今年度は、境木商店街の縁日や地域のお祭りも、4年ぶりに本格的な復活となりました。マナーを守って、気持ちよく楽しんでいる子どもたちの姿を見て、たいへん嬉しく感じました。また、子どもたちが、縁日について、総合的な学習で取り上げて調べたり、PRしたりする取組も行いました。

その取組に対して、保土ヶ谷区の「NPO法人 元気な地域人の会」より、助成金をいただきました。あらためて、学校を支えてくださっている地域の皆様にお礼申し上げます。